

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	【併用】人間健康特講Ⅴ		
担当者(Instructors)	藤沢 真理子	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<p>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</p> <p>この授業では、首都直下地震や南海トラフ地震などのリスクが高まっている今、地域における防災・減災の知識やスキルを学び、自分と大切な人の命を守る目的をもつ。なお、オンデマンド授業時の質問等の受付については、授業内に指示する。</p>

<p>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</p>	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

<p>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</p>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	地域における防災・減災とは	今後の講義の概要・予定と授業でのルールを理解する	<input type="checkbox"/>
第2回	阪神淡路大震災	阪神淡路大震災で人々が地域の中でどのように支え合ったか理解する	<input type="checkbox"/>
第3回	中越地震	中越地震で人々が一度失った地域をどのように再建したか理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	東日本大震災	東日本大震災で人々が地域の中でどのように支え合ったか理解する	<input type="checkbox"/>
第5回	熊本地震	熊本地震で人々が地域をどのように復興しているか理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	地域防災計画	地域防災計画について学び、市町村における防災・減災の取り組みを理解する	<input type="checkbox"/>
第7回	地区防災計画	住民に身近な地区において防災・減災をどのように取り組むか理解する	<input type="checkbox"/>
第8回	地域における防災・減災の取り組み1	災害想像力ゲーム (DIG)を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第9回	地域における防災・減災の取り組み2	避難所運営ゲーム (HUG)について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第10回	地域における防災・減災の取り組み3	クロスロードで災害時に起こる葛藤を理解する	<input type="checkbox"/>
第11回	地域における防災・減災の取り組み4	防災運動会を進める方法を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	備える：防災・減災を学ぶ	地域における防災・減災教育について理解する	<input type="checkbox"/>
第13回	備える：防災福祉コミュニティ	神戸市の防災福祉コミュニティについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第14回	備える：避難行動要支援者支援	名古屋市の取り組みから、避難時に支援が必要な人を支える方法を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第15回	地域における防災・減災の課題	地域における防災・減災の課題をまとめる	<input type="checkbox"/>

<p>■ 授業時間外学習（予習・復習）の内容 (Preparation/review details)</p> <p>事前学習として、テキストから次回の講義内容に関連する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学習（読んで要約）を課す。事後学習として、講義の復習をするとともに課題レポートを2時間程度でまとめることを課す。</p>
--

<p>■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)</p> <p>課題レポートは、翌週フィードバックし、全体で共有する機会を持つ。</p>
--

<p>■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)</p>		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	心身の健康増進に関する専門的知識・実践的能力を身につけている
主体性	◆ 2019人間健康DP3	多様な価値観を有し、自発的に人々と協働して地域貢献ができる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内試験				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	講義の中で、適宜テキストを紹介する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜授業で紹介する	
2		
3		
4		
5		